

ExtraNews @ Myanmar

アウンサン・スーチー女史現る

2010年10月3日、ミャンマー・ヤンゴン。活動の合間をぬって展示会の出展ブースに並べるヒスイ製品を物色しに、最大の市場アウンサンマーケットにやってきた。すると市場の雑踏が急に喧噪に変わった。奥を見ると通路いっぱい到大勢がごった返している。近くで声が響く。「アウンサン・スーチーだ！」

写真に納めようと、人の渦の中に突っ込んだ。もみくちやにされながら、カメラを持った手を高く上げて、中心に向けてシャッターを押す。その瞬間市場の屋台に並んでいるプラスチックのイスにつまづいてはじき出された。

後で画像を見てみるとちゃんと写っていました。どうやらスーチーさんは、ロンジー（民族衣装の巻きスカート）を買いに来たらしい。その御用達のお店で、スーチーさんが買ったものと同じデザインのロンジーを買いました。

それにしても民衆に絶大な人気があるようです。応援と激励の言葉が飛び交っていました。



「アジアの子ども達に未来を」 常時ご寄付を集めています

- ・名義「特定非営利活動法人 T・M良薬センター」
- ・銀行「群馬銀行本店 普通 2134150」
- ・郵便局「00160-5-591781」

表紙写真／日蓮宗スタディーツアー／スリランカ

印刷協力／群馬県沼田幼稚園（田代浩敬園長）

ロンジークラブ 18



T・M良薬センター ニュースレター

東日本大震災・スタディーツアー・水と光・バン格拉ティッシュ



「あたりまえをあの子にも」

会報 第18号

平成23年 5月16日
T・M良薬センター事務局
371-0852 群馬県
前橋市総社町総社 1024
Tel&Fax : 027-254-2325
E-mail : office@tmrc.jp
<http://www.tmrc.jp>

東北被災地支援

2011年3月11日午後2時46分、太平洋三陸沖を震源とする大地震が、津波の被害と東日本の大震災を引き起こし、福島原発の爆発につながる大災害となりました。

TMでは、13日から仙台にメンバーを派遣し、海岸沿いや遺体保管所、火葬場にて犠牲者の供養を開始しました。20日～23日には宮城県東北国際クリニックに医薬品等を届けるNPO法人シェアの活動に参加し、岩手県



釜石市、大船渡市、陸前高田市等の被災地と避難所を視察しました。また25日、福島県相馬市に届ける携行缶を集め、茨城県つくばみらい市に運びました。4月6日～8日には宮城県、岩手県の避難所等に支援物資を届けました。7日にも別の会員が岩手県山田町の避難所にソーラーライトや食料を届け（オフィスロータス提供）、同町北小学校を訪問しました。5月3日～6日、東北沿岸部の避難所に支援物資を届け、10日には北小学校を再訪、全校生徒に学用品を配布し、山田町RCにソーラーライト30基を寄贈しました（藤岡南RC提供）。今後も長期的支援を行います。



バングラディッシュ事務所開設へ

中古医療器具のリサイクル事業に伴い、現地事務所を開設する必要があります。NPO→NPOへの輸送であれば税制の優遇を得られるとのこと。理事長がダッカを訪問しバングラディッシュ国政府に設立申請を行いました。

2010年10月1日～8日、カウンターパートナーのハーク医師と共に、ダッカを訪問しました。ダッカのロータリークラブと交流し、TMRCの事務所を開設することを説明、協力者を得ることができました。ハーク氏の友人であり、首都でマンション建設を手がけるアブドゥラ氏がTMRCの現地職員として全面的に協力してくださるということで、現地の窓口として、現在アブドゥラ氏が事務所開設に向け政府と折衝中です。



バングラディッシュで「日蓮システム」（ソーラーパネルと電



灯)を持参し紹介したところ、早速依頼があり、現在ダッカ郊外の村の診療所で使われています。診療所から診察にシステムを使用している様子の写真と、御礼が届きました。今後さらに普及することを願います。

中古医療器具リサイクル

病院で定期的に入れ替わる医療器機をリサイクルし、医療の不足に苦しむバングラディッシュで活用しようとする活動をはじめました。この度最初の払い下げが行われました。麻酔器機2台です。

バングラディッシュから留学し、この春群馬大学医学部博士課程を修了したハーク医師の努力がみのり、同大学附属総合病院の田島臨床工学技士からICU棟で新機器と入れ替わった中古麻酔器機が2台出たという連絡がきました。早速実物を確認し、お預かりすることができました。

モデルは麻酔器 KF-5000V (写真・白) と麻酔用 AV ベンチレ

ータ NARKOMED23 (写真・青) です。(←器機を確認するハーク氏)

駆動方式：ボリュウムプリセット、
タイムサイクル

駆動：ガス圧 (約 2.8-4.2Kg/cm²)

1回換気量：250-1,750ml

呼吸回数：10-30回/分

I:E比：1:2

この2台は一時的に群馬県藤岡市内の倉庫 (松原甚太郎様提供) に保管させてもらい、ある程度集

まったら、放置自転車リサイクルの時にご協力して下さった「MTMジャパン」の千葉ヤードに移動させて、コンテナ輸送する予定です。ハーク氏曰く、大変貴重な器械であり、状態も良いので、是非母国で使用したいとのこと。現在同氏は東京の東邦大学病院で働いています。



スタディーツアー

TMRC では、日蓮宗が主催する 2010 年度のスタディーツアーを企画・開催することになり、スリランカでのパゴタ建設を体験するツアーを実施しました。



日蓮宗伝道部から、恒例のスタディーツアーの企画を依頼され、2月12日～19日、スリランカにて TM プロデュースのツアーを実施しました。全国から集まった12名の若者が海を越え、インド洋に浮かぶ、「聖なる光り輝く

島」を訪れました。

大自然に息づくこの国の仏教は、長い間他の宗教の侵食をまぬがれ、古き教えと戒律を継承してきました。昨今のヒンズー教原理主義との争いに、この度ついに終止符をうち、再び静かな聖地を取り戻したばかりです。

一行は炎天下のジャングルの中でさわやかな汗を流し、「平和と平等」を世界に発信する仏舎利塔を積み上げていきました。好評につき来年度も TM Produce です。



光と水 ひろがる

社会貢献を考えている方々に、ご紹介させていただいている「井戸」と、太陽光発電の「日蓮システム」が続々と寄贈されています。アジアの同胞にお贈りください。

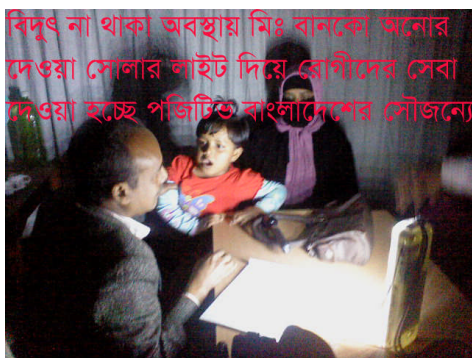


2010年9月29日、群馬県沼田ロータリークラブがカンボジア文化・宗教省を訪れ、日蓮システム（中）2基を寄贈しました。この日ミン・キン大臣は約500人が犠牲になった、橋の事故の対応に追われ、

残念ながら不在でした。

八王子市法妙寺（神蔵義一住職）が日蓮システム（中）をバンングラディシュの診療所に寄贈しました。

2月14日、熊谷市管工事業共同組合が、水を扱う仲間として、雨水を使用しているよ



うな同胞に井戸を寄贈したいということで、20万円の寄附をお預かりしました。「不景気の苦しい時代ですが、会員一同の志です」と、小林考壽理事長。現在カンボジアタケオ州にて2基工事中です。



2010年9月、カンボジア・ソニコン地区に井戸が2基完成しました。ドナーは葉山町本圓寺と高槻市広宣寺です。

11月シェムリアップ州に2基（ドナー：石田屋、市村信也様）、プノペンチョライ村に

1基（行田市妙心教会）完成しました。

2011年3月、タケオ州に4基完成しました。ドナーは佐藤信行様、山田はじめ様、神田憲生様です。また、金沢妙法寺（出島三能住職）からの寄附により現在井戸1基工事中です。



ソニ小学校では藤岡南ロータリークラブの提供で給水事業が完成し、ソーラーによる電力でモーターを動かし食堂やトイレに水を送っています。



新たに藤岡市西中学校の生徒一同より預かった資金で井戸1基の掘削が決まりました。

シェムリアップ州のアンチャ

